

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立木崎中学校

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

★進捗シートの活用

各教科等の学習で、自由進度学習を取り入れた。その際に、進捗を把握できるようにするために、右の図のような進捗シートを活用した。進捗具合を教員が把握し、個別に指導を行うことができた。また、生徒間で進捗具合を把握することで、生徒同士で教えたり、教わったりするなどの活用もできた。

グローバル・スタディ科で使用している進捗シート

★クラウド環境を活用した協働的な学び

デジタルホワイトボードを使って、クラウド上で意見を共有しながら学習を進めた。生徒の学習進度や内容把握が容易になった。生徒は困ったときに他の生徒の考えを参照するなど、情報の収集のコンテンツとして活用していた。

★社会の授業で使ったデジタルホワイトボード

表の中に全員で付箋を挿入しているので、他の意見が把握しやすい。

★総合的な学習の時間で使ったワークシート

クラス全員分のワークシートを用意して、共有できる形にし、どのようにまとめたかを互いに参照できるようにした。

数学科で使用している進捗シート

★振り返りシートの共有

振り返りシートを共有することで、協働が図られ、表現が苦手な生徒への支援になった。文字数が少なかった生徒も、回数を重ねるにつれて振り返りの文字数が増えていった。

★学級活動の時間に使用した振り返りシート

学年で同じことを行うので、全クラス同じように設置されている。